



あん



市では、近くで、安い料金で、良い作品を鑑賞できるよう、文化会館で映画上映会を開催しています。本年度は、女優・樹木希林の最後の主演作「あん」を上映します。

月日 11月15日回
時間 午前10時、午後2時の2回上映(チケット共通)
場所 文化会館(全席自由)
入場料 一般1000円(当日1100円)、高校生以下500円(当日600円)
チケット販売場所 文化会館、学びの里「めいりん」、各公民館、図書館、市役所(教育総務課)、ショッピングモールVio
問 生涯学習課 ☎65・5590

©2015 映画「あん」製作委員会/COMME DES CINEMAS/TWENTY TWENTY VISION/ZDF-ARTE

～あらすじ～
 どん焼き屋「どら春」の雇われ店長、常連客の中学生、お店の求人募集の張り紙を見て働くことを懇願してきた老女。辛い過去を背負った登場人物の運命が、老女の作った「粒あん」をきっかけに大きく変わっていく。たくさんの涙を越えて、生きていく意味を問い掛ける、感動の超大作です。

越前おおのを巡るサイクリングイベント参加者募集

秋の心地よい日差しを浴びながら、自転車に乗って市内を巡りませんか。

日時 10月31日(土)午前10時集合、正午解散
コース 下水処理センター(南新在家28-3-2)集合・解散。市内サイクリングコースを中心に、約20kmのコースを巡ります。途中、B&G海洋センターで昼食のカレーを食べます
対象 市内在住の高校生以上
定員 20人(先着)
参加料 1000円(保険料込み)

持ち物 自転車、ヘルメット、マスク
申込方法 エキサイト広場にある申込書に必要事項を記入の上、スポーツ振興室(エキサイト広場内)に申し込む
申込締切 10月20日(火)
その他 雨天中止(前日可否決定)
問 スポーツ振興室 ☎65・5592



水の循環講座「スイスイ課外授業」開催

本市には地下水のほか、食や歴史、イトヨや天空の城など、多くの宝物があり、「水」の循環を通してつながっています。貴重な地域資源である「水」をさまざまな切り口から学び楽しむ「スイスイ課外授業 第3回」を開催します。

日時 ①10月16日(土)午後7時～ ②10月18日(日)午後1時～ ※①②とも同じ内容
場所 越前おおの水のがっこう
テーマ 「世界でかがやく大野の水～キャリング ウォーター プロジェクト～」
講師 湧水再生対策室職員
定員 各10人(先着)

申込方法 電話か電子メールで申し込む
申込締切 開催日の前日午後1時
その他 今後の講座開催情報は、水のがっこうや市ホームページなどでお知らせします
問 湧水再生対策室(越前おおの水のがっこう内 ☎64・4813) 電子メール yusui@city.fukui-ono.lg.jp

コロナに負けない！ 秋のイベント・キャンペーンが盛りだくさん

秋コレ～今こそ大野を楽しもう！大野の魅力コレクション～

まちなかに食やハンドメイド雑貨、ワークショップのお店が集まるイベント「秋コレ」！子ども縁日やマルシェ、五番通りと寺町通りを巡る人力車の無料運行も行います。仮装で来場した子どもにはお菓子をプレゼント！子ども用のかわいいハロウィン衣装も無料でレンタルしています。さらに、会場を回るスタンプラリーも開催、クリアした人にはお買物券をプレゼントします。遠出しにくい今だからこそ、地元大野の魅力を再発見しませんか？

日時 10月18日(日)午前10時～午後3時(雨天決行)
場所 五番通り、寺町通り
問 (株)結のまち越前おおの ☎64・5519



七間楽市&七間朝市「みんな感謝の日曜日」

県内各地の手作り作家さんたちが七間通りに大集合。素敵な雑貨やおいしい食べ物のお店のテントが通りに連なります。七間朝市「みんな感謝の日曜日」も同時開催され、新鮮な野菜がずらりと並びます。

月日 10月18日(日)
時間 七間楽市 午前8時～午後3時
 七間朝市 午前6時～11時
場所 七間通り
問 七間大盛會 ☎65・0030
 朝市出荷組合 ☎69・9520 ※平日の午前中のみ

七間朝市「みんな感謝の日曜日」お得なお知らせ
◆朝市お買い物券販売 お得なお買い物券を150組限定で販売します
お買物券 1組500円(100円券6枚つづり、当日のみ有効)
販売方法 当日午前6時から会場受付で販売
◆お楽しみ抽選会 お買物券を購入した人に抽選で出店が提供した野菜などをプレゼント ※午前6時30分頃から

七間ハロウィン～おかしい商店街～

来場者も商店街の人も仮装する、ちょっと不思議なイベントです。あなたも仮装していつもと違う商店街を歩いてみませんか。25日は、小学生までの子どもを対象としたクイズラリーも実施します。

日時 10月24日(土)、25日(日)午前9時～午後4時
場所 七間通り
問 七間大盛會 ☎65・0030



大人も子どもも楽しめる 得々ハロウィンドライブスルー

市内のお菓子屋さんが城下町南広場に集結し、ドライブスルー形式で各店の自慢の味を販売します。専用の乗り物を使った子ども向けのドライブスルーも実施します。食欲の秋を家族で満喫しませんか。

日時 10月24日(土)、25日(日)午前9時～午後4時 ※無くなり次第終了
場所 城下町南広場(市役所北側駐車場)
問 お菓子のひろせ ☎66・2693



来て見て大野！！ いろいろ 彩 キャンペーン

市内商店街とショッピングモールVioで買い物をしたスタンプを集めると、景品交換会に参加できます。

期間 10月24日(土)まで
対象店 ショッピングモールVio、三番通り・五番通り・六間通り・七間通り・春日通りの各対象店舗
内容 対象店で1000円以上の買い物をした人にスタンプを1個押印。期間中に3個のスタンプを集めると景品と交換できます
景品 タンブラーやレジカゴバッグ、折り畳み傘など
問 大野商業開発 ☎65・5530

商品交換会 **日時** 10月25日(日)午前10時～
場所 輝センター(結ステーション内)

イベント・催し

認知症や介護のこと お茶を楽しみながらゆっくり話しませんか?

介護や認知症のことだけでなく、不安なことや気掛かりなことなど、なんでも相談できるよろず相談を実施しています。専門職がいまいますので、気軽に立ち寄ってください。

◆結のカフェ(時間内いつでも)

日時 10月10日(土)午前9時30分～正午
場所 県民せいきょう大野きらめき
内容 認知症ミニ講座～みんなで学び合いましょう

定員 10人(先着)

参加料 100円

持ち物 筆記用具

申込締切 10月8日(木)

申込先 県民せいきょう大野きらめき

(☎66・1211)

◆オレンジカフェ

日時 10月16日(金)午後1時～3時
場所 和が家(送迎可、☎69・1108に連絡してください)

内容 額の中に物語をつめる「ドリーミン グフラワーフレーム」

講師 加藤美恵子さん

参加料 100円

◆和らぎカフェ

日時 10月25日(日)午後1時～3時30分
場所 大野和光園

内容 講座「高齢者虐待について」、交流、相談

参加料 100円
健康長寿課(☎65・5046)

スポーツ・レクリエーション

いろいろなレクリエーションスポーツを体験して、スポーツの秋を楽しみましょう。

日時 10月11日(日)午前9時～正午

場所 エキサイト広場、明治公園

内容 ニュースポーツのミニゲーム体験やスラックライン、市街地を巡るノルディックウォーク体験など。各ブースでハロウィンのお菓子をプレゼントします

参加料 無料

持ち物 動きやすい服装、内履き

申込方法 ノルディックウォーク体験は、午前9時30分までに受け付け。その他は申込不要

申込先 スポーツ振興室(☎65・5592)



化石の日特別企画

「解説!手取層群の化石産地」

和泉郷土資料館で開催中の企画展「地質時代と化石」に合わせて、展示物や野外の

地層を見ながら手取層群の化石産地について学芸員が解説します。

日時 10月17日(日)午後1時～4時

集合場所 和泉郷土資料館

講師 市学芸員

対象 高校生以上

定員 8人(要予約)

参加料 市民は無料。市外の方は300円

持ち物 雨具、筆記用具、山歩きに適した服装

申込方法 電話で申し込む

申込締切 10月9日(日)午後4時

申込先 文化財課(☎65・5520)

第3回図書館まつり

古本市やスタンプラリーなど1日を通して楽しいイベントを開催します。気軽に立ち寄ってください。

日時 11月1日(日)午前9時～午後4時

場所 図書館

内容 古本市やスタンプラリー、トートバッグ作りなど

申込先 図書館(☎65・5500)

お知らせ

令和2年度ブックスタート

市では、絵本を介して、赤ちゃんを保護者が心安らぐ穏やかな時間を過ごすことを願って、ブックスタート事業を行っています。

日時 10月8日～23日の(日)と10日(日)、11日(日) 午前10時～正午

場所 図書館
対象 平成30年1月1日～令和2年6月30日生まれた乳幼児とその保護者

持ち物 母子手帳、ブックスタート引換券(対象となる保護者に配布済み)

申込方法 電話で申し込む

申込締切 開催日の前日

その他 対象者には後日詳細を案内します。平成30年1月1日～12月31日に生まれた乳幼児は、今年が最後の案内となります。本年度に限り保護者だけの参加も可能です

申込先 図書館(☎65・5500)



リサイクル自転車の抽選会

再利用できる自転車を抽選で譲ります。

応募期間 10月19日(日)～23日(金)午前8時30分～午後6時(23日は正午まで)

応募先 ビュークレーンおくえつ

抽選発表 10月23日(金)午後1時30分

引取期間 10月23日(金)～30日(金)午前8時30分～午後5時15分(平日のみ。23日(金)は抽選発表から午後5時15分まで)

大野・勝山地区広域行政事務組合

(☎66・6690)

ごみの第4日曜受け入れ

日時 10月25日(日)午前8時30分～正午、午後1時～4時30分

場所 ビュークレーンおくえつ

大野・勝山地区広域行政事務組合

(☎66・6690)

夜間無料労働相談会

日時 10月27日、11月24日、12月15日(いずれも日)

時間 午後6時30分～8時

場所 県庁など

対象 県内の労働者および雇用主(雇用形態は問わず)

申込方法 電話か電子メールで申し込む

申込締切 相談日前日の午後5時

申込先 県労働委員会

(☎0776・20・0597)

電子メール roui@pref.fukui.lg.jp

夕方のチャイルド放送時間を変更

毎日午後6時にチャイルド音「夕焼け小焼け」を放送していましたが、10月から3月までの放送時刻を午後5時に変更します。

申込先 防災防犯課(☎64・4800)

B型肝炎無料電話相談会

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに感染したと認められる人に、国から給付金

が支給されます。給付金請求に関して、無料電話相談会を行います。

日時 11月3日(日)文化の日正午～午後5時

場所 B型肝炎北陸弁護団

申込先 (☎0776・30・1371)

教室・講座

みんなでスポーツ「ヨガ教室」

日程 10月16日～11月13日の(全5回)

時間 午後7時30分～8時30分

場所 富田公民館

講師 山崎知代美さん

対象 20歳以上の人

定員 15人(先着)

受講料 1000円(みんスポクラブ会員は無料)

持ち物 飲み物、タオル、ヨガマット(持っている人)、動きやすい服装

申込方法 電話で申し込む

申込締切 10月9日(日)

申込先 富田公民館(☎66・4101)

少年スポーツ指導者講習会

日時 10月21日(日)午後7時～8時30分

場所 エキサイト広場

テーマ スポーツにまつわる子どもたちのケガとその予防法や再発しないための対処法

講師 福井大学 准教授 山田孝禎さん

対象 スポーツ少年団指導者や保護者、その他スポーツ指導者

募集

大野市図書館のキャラクター名前募集

図書館のキャラクターの名前を募集します。名前の採用者には景品をプレゼントしますので、ぜひ応募してください。

応募締切 10月25日(日)

応募方法 図書館にある応募用紙で応募する(一人何点でも応募可)

結果発表 11月1日(日)図書館まつりで発表

申込先 図書館(☎65・5500)



大野市図書館キャラクター

私の名前を考えて応募してください

市営住宅などの入居者募集

募集物件	募集戸数	受付期間	問い合わせ先
高齢者向け賃貸住宅	コーポ花山(牛ヶ原)	随時	光明寺福祉会 (☎65・7132)
	コーポめいりん(明倫町)		
市営住宅	国時団地(国時町)	10月1日(日)～13日(日)	建築営繕課 (☎64・4815)
優良賃貸住宅	東二番町家住宅(元町)	随時	

※1 家賃は収入に応じて変動します
※2 それぞれ入居条件があります。詳しくは問い合わせください

指定学校の変更には申請が必要です

小中学校の校区は、入学する子どもの住所により決定しており、入学する年の1月下旬に校区をお知らせしています。

次のいずれかに当てはまる場合、保護者は指定学校変更の申請ができます。変更が許可される期間や条件、申請に必要な書類は変更の理由によって異なりますので、詳しくは問い合わせください。

途中転居 入学後に引っ越して校区が変更になる場合で、元の学校に通学を希望するとき

転居予定 入学後に引っ越すことが決まっているため、転居予定地の校区にある学校に通学を希望するとき

昼間留守家庭(小学生のみ) 昼間は保護者がいない家庭で、預かり先や保護者の勤務先がある校区の学校に通学を希望するとき

身体的理由 病気などの身体的理由で、通学や通院に配慮する必要があるとき

教育上の配慮 不登校やいじめなど、変更することを教育委員会が適当であると認めるとき

通学距離 通学距離が小学校でおおむね2*、中学校でおおむね4*を超えているが、校区変更により大幅に通学距離が短縮されるとき

その他 指定学校の変更の必要性を教育委員会が認めたとき

就学時健康診断のお知らせ

来春、小学校に入学する人には、10月に就学時健康診断の案内を送ります。健康診断は指定された学校で受診してください。

☎ 教育総務課 (☎64・4827)



ちっく・たっくの行事予定

ちっく・たっくは親子で参加できる子育て交流ひろばです。ショッピングモールVioで、定休日を除く毎日開いています。(前10～後6)
【定休日】7日・21日・Vio定休日 ☎66・3775

子育て講座～ミュージックケア「親子ふれあい遊び」 ※要予約
日時：2日・10日・17日・24日 10:30～11:30
場所：ちっく・たっく(Vio内)
講師：子育てマスター 野路米子さん
持ち物：タオル、飲み物

子育て塾～マイスターによる身体測定と育児相談 ※母子手帳を持参してください ※要予約
日時：20日 10:30～11:30
場所：ちっく・たっく(Vio内)
内容：今月のお話「今どきの予防接種」
講師：福井高等学校 衛生看護科 教員 藤井千代美さん

子育て講座～おおのママトーク！～大野の子育てを楽しみたいママたちの座談会～ ※要予約
日時：6日 10:30～11:30
場所：ちっく・たっく(Vio内)
講師：大野の子育て情報発信サイト「おおのそだち」 安井梨葉さん
※大野での子育てがちょっと楽しくなるヒント！があるかも？

工作会～ハロウィン ※要予約
日時：31日 10:30～11:30
場所：ちっく・たっく(Vio内)
参加料：100円
持ち物：ビニール袋2枚、大スプーン、カッターナイフ、マジック



SDGs目標 No.3.すべての人に健康と福祉を

集まれおおのっ子 ひとり親家庭等学習支援事業

ひとり親家庭などの小中学生が参加できる学習会です。宿題で分からないところや、つまづいているところを習うことができます。

日時 3日・10日・17日・24日 午前9時30分～11時30分 ※日程が変更になることもあります

場所 旧アドバンススクール(神明町1107番地)

その他 学習会に参加を希望する人は、福祉こども課まで申請書を提出してください。申請書は市ホームページからダウンロードするか福祉こども課まで取りに来てください。郵送でも受け付けています

☎ 福祉こども課 (☎64・5142) 大野市母子寡婦福祉連合会 (☎65・0360)



児童デイサービスセンター くれよん教室

児童デイサービスセンターでは、ことばや発達などが気掛かりな子どもの相談や療育を行っています。いつでも問い合わせください。

♥子どものことばや育ちの相談(要申込)

日時：随時開催 前9～後4

♥平谷医師相談(要申込)

日時：6日 10:30～11:30

☎ 児童デイサービスセンター (結とびあ内 ☎65・8535)

☎ 教育総務課 (☎64・4827)、健康長寿課 (☎65・7333)



青少年悩みごと相談 (ヤングテレホン)

☎66・1006

奥越青少年愛護センター (市役所内)

教育・いじめ なんでも相談

☎0120・117415

または ☎66・7717

適応指導教室 (青少年教育センター)

子ども救急医療相談 (月～土は後7～翌前9、日祝は前9～翌前9)

☎#8000 (短縮ダイヤル)

または ☎0776・25・9955

大野市いじめメール相談 (市内小・中学生のためにいじめのメール相談です。身近な人に相談できない場合は、メールをしてください。)

✉ soudan@ace.ocn.ne.jp

保育所・認定こども園 開放日(未就園児)

☆公立保育所開放(ほのぼの広場) ※要申込(各園3組まで)
日時：6日・10日・17日 9:30～11:30
場所：公立保育所(あかね・荒島・阪谷・和泉)

☆民間保育所開放 ※見学前に保育所に要申込
いとよ保育園 毎週月・金 9:30～11:30
14日 9:30～11:30 ※身体測定

☆認定こども園開放
いなやまこども園 毎週月・金 9:30～11:30 (要申込)
19日 10:30～11:30
※すきな遊び(広場・園庭)、子育て相談(保育教諭)(1週間前までに要申込)

いなほこども園 毎週月・金 9:30～11:30
12日 10:30～11:30
※すきな遊び・子育て相談(保育教諭)(1週間前までに要申込)

大野幼稚園 毎週月・金 9:30～11:30
きらきらClub 毎週月・金 9:30～11:30
※親子ふれあい遊び・絵の具遊び・絵本の読み聞かせ・子育て相談(保育心理士)(29日 焼き芋パーティー)

園児学会 1日 9:30～11:30
開成こども園 毎週月・金 9:30～11:30
14日 9:30～11:30
※園児と一緒に散歩に出掛けましょう
上庄こども園 毎週月・金 9:30～11:30
ころころ広場 8日 9:30～11:30
亀山こども園 毎週月・金 9:30～11:30
かめさん広場 7日 9:30～11:30
※一緒に散歩に出掛けましょう(要申込)
篠座こども園 毎週月・金 9:30～11:30
子育て広場 14日 10:30～11:30 ※戸外遊び(要申込)
誓念寺こども園 毎週月・金 9:30～11:30
なかよし広場 8日 9:30～11:30
31日 9:30～11:30
誓念寺中野こども園 毎週月・金 9:30～11:30
なかよし広場 22日 9:30～11:30
31日 9:30～11:30

◎祝日・休日の場合を除く。詳しい内容は、各園に問い合わせください

ふるさと大野今昔物語



有終西小学校の遠足(昭和38年撮影)
昭和38年秋、遠足で丁坂方面に出掛けたときの様子です。バッグと水筒を肩から下げ、子どもたちが楽しそうに歩いています。
(提供者：川縁功さん)



第1回国勢調査(大正9年撮影)
大正9年に第1回国勢調査が実施されたときに当時の富田村役場で撮影された記念写真です。後ろの建物に「有りのまをを申告する。一人も申告に漏れぬこと」と書いたチラシが貼られています。

(提供：富田公民館)

大野の歴史・文化・伝統を記録した写真などを収集保存しています。家庭に古い写真などを持っている人は、ぜひ連絡してください。皆さんの協力をお願いします。
☎ 生涯学習課 (☎65・5590)

職業訓練センター 各種講座案内

各講座の締切日以降のキャンセルは、受講料が掛かります ☎ 職業訓練センター (☎65・6840)

◆ワード・エクセル入門 Office2019

ビジネスシーンで欠かせないワードとエクセルの基本機能を中心に学びます。エクセルの住所録をワードに差し込んで印刷する、エクセルの表をワードの報告書に取り込むなど、双方の機能を効果的に活用することで、作業効率が上がります。Office2019のソフトを導入したパソコンを使用します。
日程 11月4日～12月4日の日(全10回)
時間 午前の部 10時～正午
午後の部 7時～9時

講師 午前の部 中狭清次さん
午後の部 木下順子さん

定員 各部9人
受講料 1万円
締切 10月21日
その他 テキスト代は2200円



◆JW-CAD入門

CADのフリーソフト「JW-CAD」の基本操作から図面の書き方まで習得できます。「JW-CAD」は汎用ソフトなので、電気図面や設備図面にも応用できます。
日程 11月14日～令和3年1月30日の日(12月26日、令和3年1月2日は休み)(全10回)
時間 午前9時～11時30分
講師 中狭清次さん
定員 9人
受講料 1万3000円
締切 10月30日
その他 テキスト代は3520円

～税務署からのお知らせ～

税務署では、音声ガイダンスによる面接相談の予約や電話相談を受け付けています。税に関する相談がある場合、まずは税務署に電話してください。
☎ 大野税務署 (☎66・2180 自動音声案内)

面談によらない質問や相談は「電話相談センター」を利用してください

税務署での面接相談には事前予約が必要です

職員との面接による相談を希望する人は、大野税務署に相談日時を事前に予約してください。

◆事前予約の方法

大野税務署に電話する

音声ガイダンス2番を選択

電話相談センターの利用方法

大野税務署に電話する

音声ガイダンス1番を選択

※電話相談センターのほか、国税庁ホームページタックスアンサー「よくある税の質問」も利用してください

国税庁ホームページ

入札参加資格審査の申請を受け付けます

令和3～5年度に市が発注する物品購入などの契約に係る競争入札に参加を希望する人は、申請書類を提出してください。申請の手引きや様式などは、総務課契約管理室や市のホームページから入手できます。

受付期間 10月15日(日)～12月14日(日)

☎ 契約管理室 (☎64・4821)

第2回イトヨ観察会 イトヨがとび出る！紙コップクラッカー作り

イトヨの観察やイトヨをモチーフにした工作を通して、みんなでイトヨのことを学ぼう！

日時 10月31日(日)①午前10時～11時、②午後1時30分～2時30分 ※①、②ともに同じ内容

場所 本願清水イトヨの里

内容 イトヨの学習と観察、イトヨをモチーフにした紙コップクラッカー作り

対象 小学生(2年生以下は保護者同伴)

定員 各回10組(先着)

参加料 無料

持ち物 筆記用具、色鉛筆、はさみ

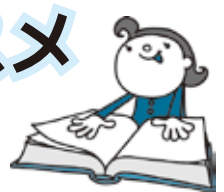
申込方法 電話か直接来館して申し込む

申込締切 10月24日(日)午後5時

☎ 本願清水イトヨの里 (☎65・5104)

みんなの図書館

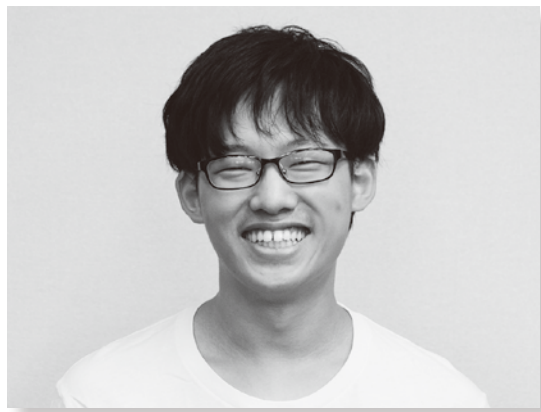
読書のススメ



『お寺の掲示板』
江田智昭 著
新潮社

本書は、SNSのツイッターやインスタグラム上にお寺の掲示板の写真を投稿してもらい、その中から優れた作品を選ぶ企画「輝け！お寺の掲示板大賞2018」に集まった作品をまとめたものです。「お寺離れ」が進む中、お寺をもっと身近に感じてもらうため、お寺と外部の人をつなぐ唯一の場所である掲示板を活用しようと、(公財)仏教伝道協会勤務の著者が企画しました。各住職らの個性光る掲示板の言葉や書体が、著者の解説付きで分かりやすく掲載されていて、思わず笑みがこぼれたり、仏教の深い教えに納得させられたりします。大野は信仰の厚い町です。わが町のお寺の掲示板を見に行きませんか。

- ◆新着図書
- ◆フンフィクション
老いてこそデジタルを。(若宮正子)
 - ◆文豪たちのずるい謝罪文(山口謠司)
 - ◆なるほど！毎日の役立つ数学(近藤宏樹)
 - ◆改革する思考(原晋)
 - ◆職場の科学(沢渡あまね)
 - ◆ライクシオン
 - ◆竹林の七探偵(田中啓文)
 - ◆お父さんはチューバー(浜口倫太郎)
 - ◆テロリストの家(中山七里)
 - ◆雪月花(北村薫)
 - ◆はたる茶屋(藤原緋沙子)
- ◆児童書
- ◆恐竜・古生物NO.1図鑑(土屋健)
 - ◆14歳の教室(若松英輔)
 - ◆子ども文様してん(中菜穂)
 - ◆はりねずみとむららのふうせん(よこたアトリー)
 - ◆ハリネズミは月を見上げる(あさのあこ)
 - ◆絵本
 - ◆ひろいひろいひろいせかいに(スロポドキン)
 - ◆ベッドのなかにはきょうりゅうのくに(まつおかたつひで)
 - ◆ねらねらねらんかば(ちやのこ)
 - ◆ぎゅづげんいちろ(これがぼくらにぴったりのローベル)
 - ◆トラ(こしほ)
 - ◆ホジンス



荒木 創吾さん (新庄・18歳)

世界各国から選抜された高校生を受け入れ、国際感覚豊かな人材を養成する民間教育機関のユナイテッド・ワールド・カレッジ(UWC)。その香港校で2年間学んだ荒木創吾さんに、海外留学のきっかけや、留学を通して学んだこと、今後の目標などを聞きました。

ー海外留学しようと思ったきっかけは

高校1年の夏、父の勧めもあって石川県小松市で開かれたサマースクールに参加しました。サマースクールでは海外の大学生や英語が堪能な日本の大学生、全国から集まった同学年の高校生と共に学びながら交流を深めました。授業は全て英語だったので、参加する前は自分の英語が通じるのか不安でしたが、海外の大学生とも会話ができることが自信になりました。

サマースクールの後、父からUWCのことを教えてもらい、受験することを決めました。

ー受験勉強はとて大変だったのでは

UWCの受験を決意したのが高校1年の9月で、試験は12月でした。入部していた吹奏楽部を休部し、試験科目の英語、国語、数学、小論文を毎日4時間勉強し合格することができました。

ー海外留学での思い出を教えてください

1年生の頃は勉強でとても苦労しました。日本と違って宿題がなく、「何時まで勉強しなさい」というルールもないので、自分で考えて勉強を

自分がやりたいと思うことにどんどん挑戦したい

UWC香港校に2年間留学

こんにちは

しないといけません。特に英語で苦労しました。通じるだろうと思って話していたことが全然通じていない、ということもありました。勉強がうまくいかなかったことで趣味だったはずの音楽にも手が付かなくなっていました。

ーどうやって乗り越えたのですか

考え方を試してみることがありました。それまでは「自分は何ができるだろう」とただ頭で考えているだけでした。そうではなくて「まずはやってみる」という考え方に変えたんです。そこから勉強も趣味もうまくいくようになりました。苦手だった英語でジョークを言って周りを笑わせられるようになりましたし、趣味の音楽でも路上ライブなどを行いました。

ー海外留学を経験して変わったところは

行動力が付いたと思います。自分で考えて勉強するという環境や、「まずはやってみる」という考え方の変化によっていろんなことを自ら考え、挑戦できるようになりました。

ー今はどう過ごしていますか

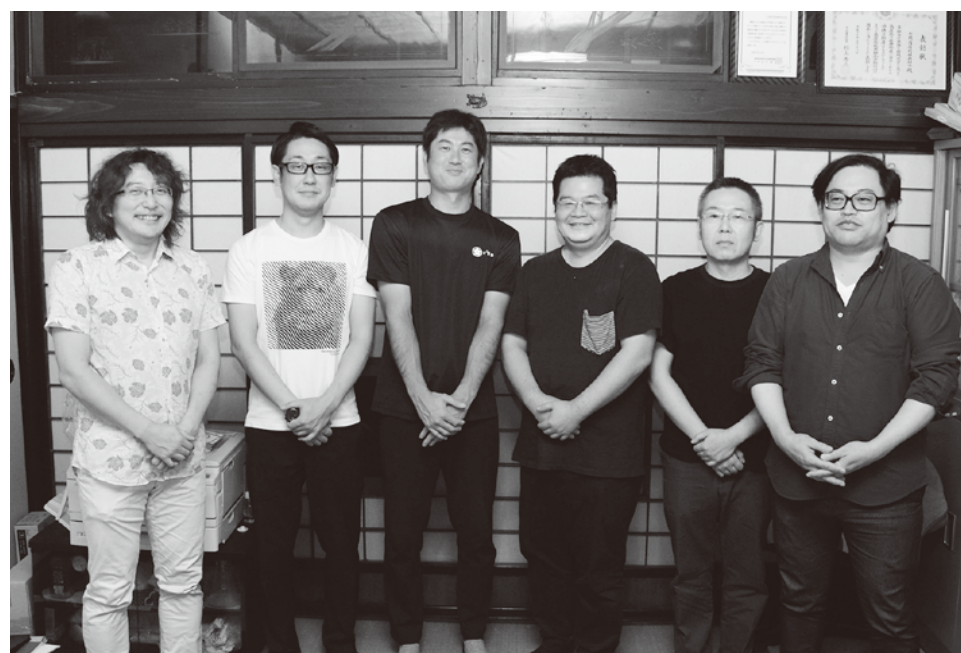
香港とカナダの大学には合格しましたが、新型コロナウイルスへの不安もあるので、自分の進路をじっくり考えているところです。時間を見つけて大野の友達とも遊んでいます。

ー今後の目標を教えてください

音楽やフルーツアート、韓国語など本当にいろんなことに興味があって、まだ絞り切れていません。周りの声を気にせず、やりたいと思うことに挑戦して、出る杭になりたいと思います。たとえ成功しても失敗しても、その経験が将来の強みになると思います。

広告

ぐるーぷ登場



七間通りから大野を盛り上げたい 七間大盛会

10月18日に開催される七間楽市は、七間通りに県内各地の手作り作家が集い、雑貨や木工品などさまざまなお店が軒を連ねます。

七間楽市の翌週には同じく七間通りを舞台に「七間ハロウィン」が初めて開催されます。

これらのイベントを企画・運営するのが、七間通りにある店舗の若手経営者など8人で構成する七間大盛会です。

会長を務める高柳亮太さんに会の名前の由来を尋ねると、「七間通りから大野を盛り上げたい」との思いからの命名で、結成は今から3年前、七間通りでつながる若い仲間が何かできないかと集まったのがきっかけだそうです。自分たちのいる七間通りで何ができるかと皆であれこれ考えたところ、たどり着いたのはやはり江戸時代から続いていた「七間朝市」。

高柳さんは、「歴史ある七間朝市の出店者が減るのを何とかしたい」と思い、七間楽市を開催することにしました。出店者もお客様も楽しく気軽に参加してほしいという思いで楽市と名付

けました。まずは楽市に出店してもらい、ゆくゆくは朝市にも出店してくれる人が増えればと考えています」と話してくれました。

3年前に20軒ほどだった出店者は、回を重ねるごとに数が増え、今では40軒近くのお店が七間通りに並びます。今回も出店に関する問い合わせが多数寄せられており、会では、コロナ禍でいろんなイベントが中止になり残念な思いをしている出店者やお客さんに、少しでも元気に

なっていてほしいとの思いを強くしています。とはいえ、会のメンバーもコロナ禍の影響が無かったわけではありませんが、毎年10月下旬に開催され、多くの市民や観光客で賑わう「三大朝市まつり」は中止になりました。

しかし、「今までやってきたことができない分、新しいことをやる機会が増えた」と考え、七間ハロウィンを開催することに決めました。

七間ハロウィンでは七間通り沿いの約15軒のお店がお客様に無料でお菓子を配るほか、店主が仮装してお客さんをお出迎え



市民のページ

あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は秘書広報室まで ☎64・4825

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円 / 2枠2万円)

問い合わせ先 秘書広報室 (☎64・4825)

広告

します。普段は立ち寄ることのないお店も、この機会に気軽にのぞいてみてほしいと考えています。高柳さんは「会の名前に込めたように、今後も七間を中心に、いろんな形で大野を盛り上げていきたい」と話してくれました。



下据区防災会の羽生会長(左)と山二工業株式会社の山田社長(右)

災害時は企業のビルを避難場所に 下据区防災会と山二工業(株)が協定締結

8月18日、下据区の自主防災組織「下据区防災会」と山二工業株式会社が、風水害時に地区住民が同社の建物を一時避難場所として使用できるようにする協力協定書を締結しました。

県と各市町では、企業の協力のもと、企業の施設を一時的な避難場所として活用する事業を始めていて、この事業による協定の締結は県内で初となります。

協定書を取り交わした山田拓郎社長は「普段から地域にはお世話になっているので、貢献できればと考えていた。地域の人々が安心して避難できることはもとより、災害が起きないことを願っている」と話していました。

下据区防災会の羽生孝友会長は「山二工業の建物は堅牢で、仕切りもありプライバシーも守られる。避難場所を提供いただいたことに感謝したい」と話していました。

水に関する交流などに尽力

国際交流員のマチルドさんが退任

8月21日、国際交流員として活動してきたマチルド・クワウさんが、9月の退任を前に市長に3年間の活動報告を行いました。

マチルドさんはフランス出身で、平成29年7月に市の国際交流員として着任、本市とフランスのヴォルヴィック市やオルレアン市などとの水を通じた交流の架け橋となりました。

また、フランスの旅行会社への誘客活動や市の観光パンフレットのフランス語翻訳など、外国人の観光誘客にも携わってきました。

「豊かな自然と名水が大野の魅力。大野での仕事を通じて水や環境に興味を持つようになった」と話したマチルドさん。今後は、イギリスの大学院に進学、気候変動問題やエネルギーについて学ぶ予定です。



第一生命保険(株)と

連携協定を締結しました



8月26日、第一生命保険株式会社と本市は、健康増進や女性活躍などの分野で連携してまちづくりに取り組むための包括連携協定を締結しました。市役所で締結式が行われ、石山市長と

同社の山川泰弘福井支社長が協定書にサインしました。

協定締結後には、同社の大野営業オフィスで製作した市内保育園児向けの手作りクロスを寄贈いただきました。

(株)松屋R&Dからコロナ対策物資を

寄贈いただきました



8月27日、市内で縫製用AIロボットの開発などを手掛ける株式会社松屋アールアンドディより、フェースシールドと医療用ガウン2000枚を寄贈いただきました。

同社の後藤秀隆社長は「何らかの形で地元へ貢献したいと思っていた。今後も地元企業として市に貢献したい」と話してくださいました。

寄贈いただいた物資は市内医療機関に配布しました。

陽明中学校が男女ともに2年連続V

奥越地区中学駅伝を開催

8月27日、奥越ふれあい公園で奥越地区中学校駅伝競走大会が開催され、参加した選手たちは暑さにも負けず、力強い走りトラックを駆けていました。

大会は男子が6区間18*、女子は5区間12*のコースで競い、AチームとBチームの両部門に男女計27チームが出場、Aチームの部は男女とも陽明中学校が優勝を果たしました。

Aチームの部、陽明中学校の女子は全区間で区間賞を記録するなど他チームを圧倒すると、男子も2位に3分以上の差をつけてゴールしました。陽明中学校男女ともに優勝するのは2年連続で、男子は今回で3連覇となります。

Aチームの部上位2位に入った陽明中学校男女と開成中学校女子が、10月6日に鯖江市で開催される県大会への出場権を獲得しました。



カーブミラー清掃を20年以上継続

越前信用金庫が国土交通大臣表彰受賞

9月1日、本年度の道路ふれあい月間で国土交通大臣表彰を受賞した越前信用金庫の松田浩次理事長らが市役所を訪問し、市長に受賞を報告しました。

同金庫は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛した昨年度を除き、平成9年度から毎年3月に冬期間に汚れたカーブミラー約600カ所の清掃を続けてきました。

松田理事長は「地域貢献をしようということで始めたことがここまで長く続いた。今回の表彰を励みに今後も活動を続けていきたい。3~5年で終わる活動も多い中、気概を持って続けてくれた職員にも感謝したい」と受賞の感想を語ってくれました。



これからも元気に長生きしてください

百寿、米寿をお祝い!

9月12日、市長らが百寿(100歳)・米寿(88歳)を迎える皆さんを訪問し、健康長寿をお祝いました。

このうち、鍬掛の清水千代子さん(99歳)宅に石山市長が訪問し、内閣総理大臣と市からのお祝い状と記念品を贈呈しました。

ご家族によると、清水さんの長寿の秘訣は好き嫌いなく良く食べることで、今でも庭や畑の雑草取りをしたり、散歩に出掛けたりするほど元気だそうです。

9月12日現在、市内で本年度に百寿を迎える人は17人、本年1月1日から来年3月31日までに米寿を迎える人は361人です。



60th anniversary



JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のおゆみを振り返ります。

越美北線開業 60周年記念

第8回 3年ぶりの全線復旧

♪線路は続けよ いつまでも

●着々と進む復旧工事

平成17年6月27日、JR西日本金沢支社と県が越美北線復旧の基本協定を締結すると、10月17日に復旧工事が開始されました。福井豪雨から1年3カ月が経過していましたが、途中、平成18年豪雪に見舞われるなどの困難もありましたが、工事は順調に進んでいきました。

●復旧に向けた利用促進

工事が着々と進む一方、美山ー越前東郷間の代行バス運行により乗車時間が長くなったことなどが原因で、被災前に比べ越美北線の利用者は大きく減少していました。復旧に向けて利用者を取り戻そうと、市やJR越前大野鉄道部は、街頭啓発キャンペーンや越美北線利用促進大会の開催など、さまざまな施策を打ち出しました。全線復旧が間近に迫ると、沿線各地で花の植栽活動が行われたり、「越美北線盛り上げ隊」が発足したりするなど、沿線住民全体で復旧を盛り上げる動きが活発になっ

ていきました。

●復旧を喜び合う住民たち

平成19年6月30日、ついに全線が復旧し、約3年ぶりとなる全線運転の再開に、大勢の沿線住民や鉄道ファンが喜び合う姿が見られました。当日は、出発式が美山駅と越前大野駅で、全線復旧記念式典が学びの里「めいりん」でそれぞれ開催されたほか、クリーム色と赤色の旧国鉄色に塗られた、全国でも希少となっていた「キハ28」「キハ58」による記念列車「おくえつ号」が運行されました。どの会場にも運転再開を待ち望んでいた多くの市民が詰め掛けました。



記念列車「おくえつ号」

市民のうごき

令和2年9月1日現在(前月比)

世帯数	1万1767世帯 (15世帯)
人口	3万2463人 (-23人)
〈男〉	1万5518人 (-12人)
〈女〉	1万6945人 (-11人)

◆8月中の内訳

転入	46人	出生	18人
転出	54人	死亡	33人

今月のスナップ



コロナに負けずな イルミネーション

編集後記

有終南小学校の敷地に設置されたイルミネーション。「コロナウイルスに負けるなドクター」ナースありがとうこの文字が鮮やかに浮かんでいます。10月からは、約1万個のLEDを使ってオリンピックマークなどを浮かび上がらせるそうです。7月から県内で拡大した感染第2波も落ち着いてきた様子。イルミネーションの変化に合わせて明るい話題の尽きない秋になることを期待しています。



新型コロナウイルスの第二波が到来した。第一波では収束することを前提にした方策ばかり考えていた。マスク

ミがこの問題をテーマに様々な特集を組んだ▼どうやらこの新型ウイルスは封じ込められることが困難だという。高齢者や基礎疾患がある人に高い病原性がある反面、子どもたちへの病原性は低いことも分かった。人間社会に定着するために出てきたようなものだ▼「ウイルスとは共生が必要」と語る長崎大学の山本教授。生態系への人間の無秩序な進出、地球温暖化による熱帯雨林の減少などにより、人と野生動物の距離が縮まったため、野生動物が本来持っていたウイルスが人に感染するようになったという。エボラウイルスやエイズも同様らしい。誰もが待ち望むのはワクチンと治療薬だが、そう簡単にできそうもない▼「コロナウイルスとの共存はどうしたら実現できるのか。楽しい人とのコミュニケーションを犠牲にしても、まずは三密を避け、マスク、手洗い、消毒など小さなことを積み重ねながら、流行の速度を遅らせることで、社会インフラ破綻を防ぎ、ワクチンや特効薬の開発をすすめることが重要という▼働き方や学校生活なども一変し、まだまだ先のことがなかなか見通せない状況が続く。山本教授は「一人一人が希望をもつことが大切」と語った。新しい生活様式は少しずつ定着しているが、お互いに知恵を出しながらこれからの社会を考えることが未来への希望につながることを信じていたい。(I・M)